

【第2報（最終）】下り線 85.8KP付近 雪氷車両接触事故

【発生日時】 2025年2月8日（土） 5時30分頃
【発生場所】 E41東海北陸自動車道 高鷲IC～荘川IC 下り線 85.8KP付近（中沢橋A1付近）
【工事件名】 2024年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務
【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 本線除雪兼散布作業（3台梯団作業）
雪氷対策作業にて、視程不良による通行止区間（白鳥IC～飛騨清見IC）の本線の除雪兼散布作業中、梯団の1番車右路肩の壁高欄へプラウを接触させその反動によりプラウの右シリンダーを变形させてしまったもの。
なお、右シリンダー変形によりプラウは操作不能である。

【被害状況】 人的損害 なし
物的損害 [REDACTED]（除雪車） プラウ右下ウレタン取付部先端の変形
プラウ右シリンダー変形（プラウ使用不可）

【第三者被害】 なし
【マスコミ報道】 なし

【時系列】

2/8 5:30 除雪車1番車が橋梁壁高欄と接触
5:40 除雪車1番車より基地連絡員へ連絡
5:50 基地連絡員よりメンテ雪氷本部連絡員へ連絡
5:55 メンテ雪氷連絡員より [REDACTED] HSC所長及び当番班長へ報告
8:50 メンテ雪氷連絡員よりメンテ本社へ報告

2/10 10:30 雪氷基地にて緊急安全大会を実施
13:30 整備会社による損傷状況確認

【原因】 視程不良による通行止区間の視界不良（当時の視程観測値：10m程度）
堆雪による構造物の視認不良

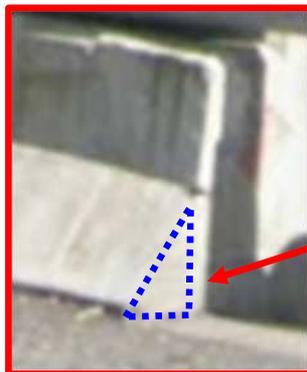
【対策】 超高輝度の視線誘導標（アイアーク付きスノーポール）を対象橋梁上流側に設置する。

位置図



※構造:中央分離帯Grと壁高欄の擦り付け部
右路肩:ハンチ部がGr外側に飛び出し
左路肩:Asカーブとハンチ部が連結

※拡大図



※はかま(テーパー)W=125mm

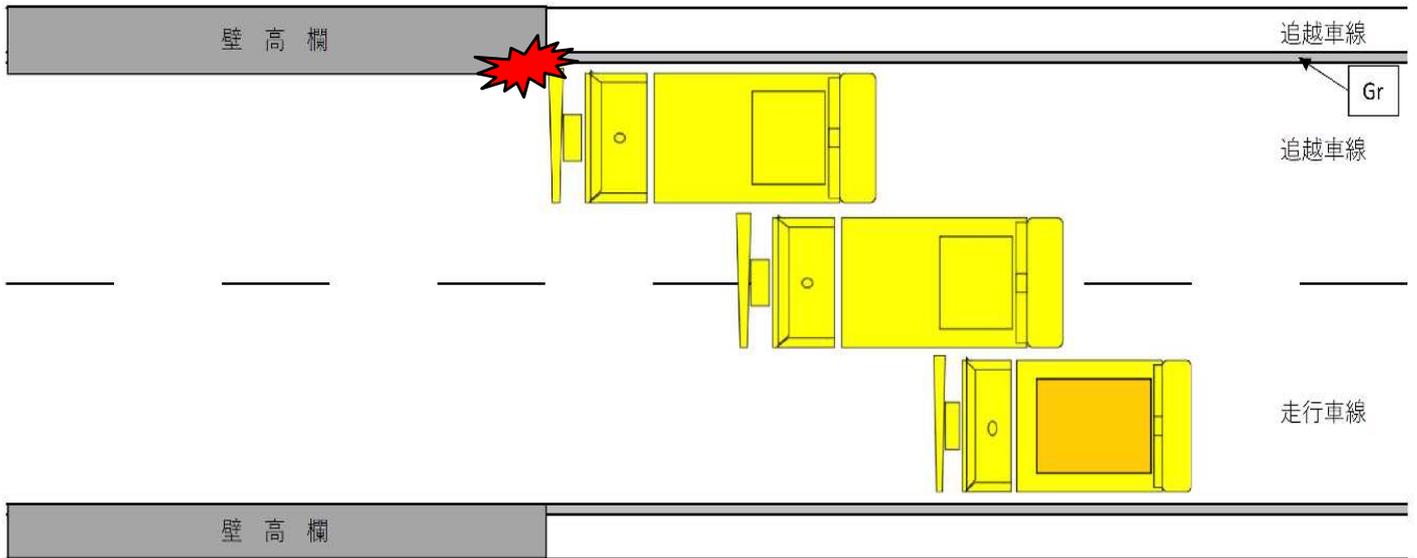
事故発生時の状況

平面図

(至) 高山方面

本線3台梯団による除雪散布

(自) 名古屋方面



事故発生時のドライブ
レコーダー

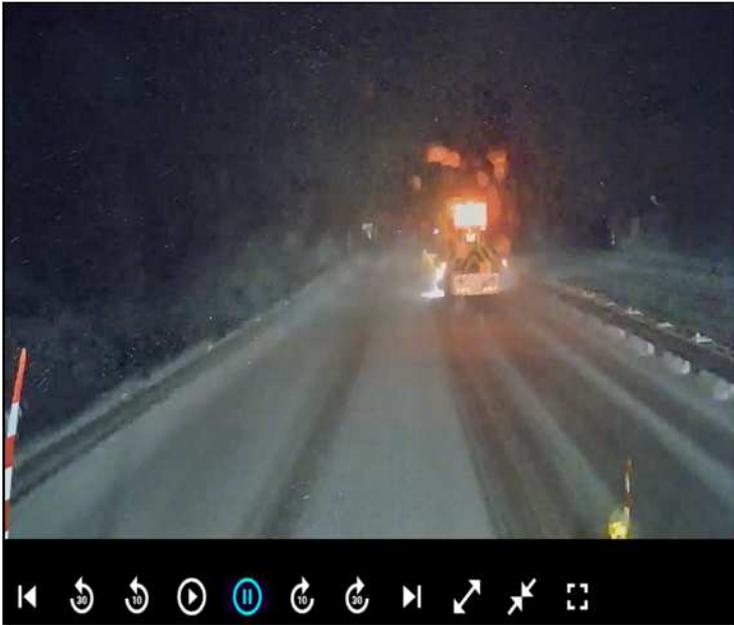
2025/02/08 05:29:49



事故発生時の状況

通行止時管内除雪車のVIPS状況

2/4:5:30頃(比較写真)



2/8:5:30(比較写真)



通行止時管内巡回時の状況写真



破損状況

プラウ右下ウレタン取付部の変形

遠景



近景



プラウ右下ウレタン取付部先端の変形

遠景



近景

